

上田建設事務所だより



(27年10月～28年1月13日)

ある日の道路パトロールで・・・



冬的美ヶ原は訪れる人も少なく、ひっそりとしています。この日は快晴とは言えませんが、空気が澄んでいて、八ヶ岳の向こうに富士山を見ることができました。実際には写真より、大きくはっきり見えたのですが、カメラが原因か腕が悪いのか、画面中央にうつすらと写るのみ。素晴らしさをお伝えできず、残念です。
(1月13日撮影)

12月22日 急傾斜地崩壊防止施設改築事業 現場見学会

防災・安全交付金(総合流域防災)緊急改築事業(上田市天神町)の現場見学会を開催しました。昭和51年に築造された高さ10～14mのコンクリートブロック積擁壁に老朽化による亀裂等が生じ、崩壊やコンクリート落下が懸念されるため、改築を進めているもので、現在のブロック積表面から長さ5mの鉄筋を挿入し、安定した地盤に固定した上で、全体を厚さ20cmのコンクリートで覆うことで、安全な斜面となります。



(左:現場前での説明 中央:左手の足場が現在施工中の箇所 右:削孔機械で斜面掘削後、鉄筋を挿入)

12月9日 除雪の新戦力、参上！



上田建設事務所に11トン級除雪ドーザと2.5立方メートル級凍結防止剤散布車の2台が新たに配備されました。すでに配備されている除雪機械とともに、本格的な降雪に備えます。

11月5日 東御市大石沢川で長野高専学生の現場測量授業を行いました

東御市の一級河川大石沢川を跨ぐ大石沢眼鏡橋は、今から約130年前(明治16年)に完成した石橋で、東御市の指定文化財となっています。11月5日に、長野工業高等専門学校(長野高専)の3年生が、眼鏡橋を調査するため、現場測量授業を行いました。なお、今回の取組は、県内測量設計会社の技術指導及び土木・環境しなの技術支援センターの支援により行われ、上田建設事務所も現場の整備で協力させていただきました。



10月28日 国土交通大臣表彰伝達式を行いました

国土交通省が実施する、建設工事に関する基幹統計調査において、功績が顕著な事業者として、管内から「株式会社松井建設」(上田市武石)が選定され、10月28日、上田建設事務所において、国土交通大臣表彰の伝達式を行いました。建設工事施工統計調査(年次調査)と建設工事受注動態統計調査(月次調査)における、正確さ、適正期間内の提出など、長年にわたる協力が評価されたものです。本年は、長野県から2社、全国で88社が表彰されました。

(写真中央(株)松井建設代表取締役 松井智哉様、左 同社 松井幸子様、右 河西上田建設事務所長)



管内紹介～内村ダム



上田市鹿教湯温泉地籍、信濃川水系依田川支流内村川に建設された、高さ51.3メートルの重力式コンクリートダムで、昭和60年に完成しました。洪水調節、川の流れの正常な機能の維持、上水道用水など多目的に利用されています。

毎年、「森と湖に親しむ旬間」に合わせ、7月下旬にダム見学会を開催しています。ダム管理棟操作室や監査廊などを見ることができます。夏の監査廊はヒンヤリとしていて、ちょっとしたクールシェアスポットになります。[今年の見学会の様子](#)



写真(左)は紅葉の時期を迎えた内村ダムです。周辺の山々を湖面が静かに映します。周辺は公園として整備されていますので、周辺の温泉とともに、一度訪れてみてはいかがでしょうか。